

・移住交流支援センターだより・

NPO
グリーンパレーの
伊藤・吉田が
お届けします。



お問い合わせ
☎676-1177
IP: 2028

空き家相談会を 開催しました

8月12日(金)に神山町役場にて空き家相談会を実施し、3件の相談が寄せられました。相談内容は、空き家と農地の賃貸・売買についての具体的な相談から、相続登記の手続きや、借地上の空き家の処分についてまで様々でした。産業観光課または移住交流支援センターでは、空き家に関する相談を随時受け付けております。どんなことでも、お気軽にお問い合わせください。

- 空き家から出るモノを再利用 - 「モノストック」オープンデー

9 / 25 (日) 9時~12時
10 / 24 (月) 9時~12時
神領青井夫・旧国道沿い

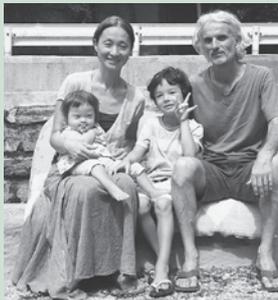


今月のインタビュー

2020年に移住したザビエ&栗津さんご家族を紹介します。ザビエさんはアースバックハウスという、土を材料にした家づくりの専門家です。

〈移住のきっかけ〉

そよ子 神山に来る前はインドネシアのバリ島やインドで暮らしていました。東京でダンサーとして10年ほど活動していたのですが、転職があつて旅に出て、夫のザビエと出会いました。当時の彼は、冬はフランスのスキー場で働きながら、夏は世界を旅して暮らしていました。バリ島やインドでは、



ザビエ コロンバット フランス出身
栗津そよ子 京都府出身
ソハム バリ島生まれ
かや 神山生まれ

鬼籠野黒河在住

彼はアースバックハウスの建築者として、私はパーマカルチャーという手法で庭・畑づくりをするカーデナーとして活動していました。

ザビエ 実は最初、旅行のつもりで日本に来ていました。コロナで海外との往来が難しくなったこともあり、友人の紹介で神山に移住することを決めました。川がきれいで滝もあつて、いろんな人がいて町に活気を感じて、神山を気に入りました。私は日本語が話せないなので、外国人や英語を話せる人が町にいることも安心できました。

〈仕事や暮らしについて〉

ザビエ 約10年前からアースバックハウスの建築を始めました。土を詰めた土嚢袋を一層ずつ叩いて重ねて、強度を上げるため有刺鉄線をはさみながら構造を作ります。徳島では、市内で遊び場と倉庫を兼ねたドームを建てたり、神山ビールの醸造所で

屋外ベンチを作りました。表面は

漆喰を塗ることが多いのですが、屋外ベンチは子どもが遊べるようにセメントを塗りました。



屋外ベンチ製作の様子

そよ子 今は子育て中心の暮らしです。鬼籠野公民館で月一回、市内の保育士さんと一緒に「わらべうたと絵本とリズムダンスの会」を企画しています。わらべ歌は昔ほど歌われなくなっているけど、人と人の触れ合いに大切な要素があると感じていて、今の子どもたちにも歌い継いでいきたいです。

〈今後の抱負〉

どこかで本格的なアースバックハウスを建て、畑や庭づくりをし、自然や動物と触れ合える持続可能な場所づくりがしたいです。そこで子どもたちの教育の場づくりもできたらと思います。

新規移住相談件数

6月: 18件
7月: 9件

